

梅鶯仏教壮年会報

第188号
2024年
5月19日

法輪寺永代経法要

―仏壯参拝行事―

日時 6月1日(土)

10時 日中法要 お説教

13時半 速夜法要 お説教

講師 北浦思朗師

(稲枝西組光嚴寺住職 本願寺布教使)

5月例会

期日：5月26日

(日)

夕刻5時〜6時

プログラム

お勤め

法話『浄土真宗のみ教

え』

梅鶯仏壯定期総会開催

―新役員決定―

去る3月30日に、令和5年度の梅鶯仏壯総会が開催され、新役員が選出されました。

任期は令和6年4月から同年3月末までの3年間で、まこ、今日3戸まうてんす。

〔新役員〕

会長 北村 幸雄

副会長 森 勝昭

会計 田中 善雄

監事 田中 善雄



あなたの
こころが
きれいだ
から
見んでも
えらん
だ
ない
に

相田み

令和6年度行事予定

5月26日(日)

例会(17時)

6月 1日(土)

法輪寺永代経法

要

7月28日(日)

例会(17時)

9月〜11月(未定)

親睦研修旅行

11月 2日(土)

報恩講

12月28日(土)

除夜会(11

時)

1月26日(日)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

アノネ
親は子供を
みているつもり

子供はど
その親を
みているん

だよりも

よごれない

眼でねい
相田みつ

題材法話

浄土真宗のみ教え②
「美しき西方浄土」

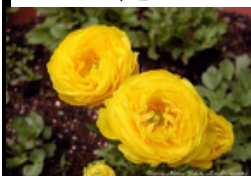
＊拝読「浄土真宗のみ教え」の30頁をお読み下さい。

ての最終目的は、一切の苦から解放された安楽の世界『浄土』に生まれることです。

「暗」に對して「光」として示されることを前回にお話ししました。

経には『究竟して虚空
 のごとく廣大にして辺
 際なし』、すなわち、
 かたちもなく空間的に
 限定することができな
 い世界であると述べら
 れています。

つまり、迷い
 を繰り返す私た
 は、とらえるこ
 きない世界とい



いとも思えませんか。
 にはたしてこれで本当
 〇唯円さんの大きな悩
 み

聖人（第九條）が歎異抄の中で明確に答えて下さっています。大事なことなの
 で、意訳文を引用しながら要点をお話しします。

ある日お弟子の唯円
が親鸞聖人に尋ねま
す。一南無阿弥仏の
み教えを喜び、お念仏
を申す身になつてゐる
のですが、踊り上がる
ような喜びの心がそれ
ほど湧いてきません
し、また少しでも早く
浄土に往生したいとい
う心も起こつてきませ

ん。これをどの
考えたら良いの
うか？」と。
多分唯円さん
んなことを聞け



たのは、「この親鸞も
なぜだろうかと
思つて
いたのですが、
唯円坊
よ、あなたも
同じ心持
ちだったの
ですネ
・・・」と、
唯円の悩
みをわが事
として語
れるので
す。

まずここに
人間味
あふれる
親鸞様
を感じ
ます。

○すべてを
みそなわ
さ
れて
いる
阿弥陀
さま

本願を起こされたのだ
 に大いなる慈悲の心で
 せられ、私どものため
 に満ち溢れた凡夫と仰
 られたから、私を煩惱
 さま初めから知ってお
 私であることを阿弥陀
 の仕業です。そうした
 て喜べないのは、煩惱
 ぶはずの心が抑えられ
 そして仰るのは一喜

と改めて気づか
ますます頼もし
れるのです」と。
す。まさに逆転の



裸々に語られ、一苦惱に満ちた迷いの世界は捨てがたいし、安らかな悟りの世界に心惹かれ、盛んだから、誠に煩悩が、盛んだから、誠にあるけれど、どれほど名残惜しく思つても、縁がつきて命を終える時には浄土に往生させていたただくのです」一阿弥陀さまは早く往生したいと思つて、大いなる慈悲の心で本願を起さされたのだから、ますます頼もしく往生は間違いないと思えるのです」と仰られます。

さらに一踊り上がるような喜びの心が湧き起こつたり、早く浄土に往生したいと思えたの、むしろ煩悩がないのだらうかと疑わしく思われることではよく「一」と付け加えられ、一私達の煩惱」と一阿弥陀さまの救済（本